



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



第1129回例会 2014年8月20日 No.1098号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

昨日深夜から本日未明にかけて、広島市安佐南区の緑井地区、八木地区、山本地区、安佐北区の一部で局地的な豪雨により未曾有の被害(土砂崩れ、土石流など)が発生しました。当クラブ会員で、安佐南区に住居や事業所をおもちの方については幸いにも被害は生じなかったようですが、今後も注意してゆきたいと思えます。亡くなられた方に対しては心よりお悔やみ申し上げます。又、被害を受けられた方に対しては心よりお見舞いを申し上げます。

さて、本日の卓話は、福岡西ロータリークラブ会員(医師)廣畑富雄様です。本日配布しました、「ロータリーの心と原点—基本に還ろう」の末尾に廣畑様の履歴とロータリー歴が掲載されておりますのでご覧ください。2710地区の金子真也ガバナーは、「ロータリーを学び」ということを強調されています。本日の卓話で是非、会員の皆様に「ロータリーの精神」を「学び直していただければ」と思って、企画しました。ご静聴下さい。

今回の例会(8月27日)

ガバナー公式訪問
金子 克也 様

次回の例会(9月3日)

新入会員歓迎夜間例会

出席報告 (例会運営委員会)

8月20日(水)出席者

会員総数	56名	ご来賓	1名
出席会員	35名	ご来客	0名
欠席会員	21名	ゲスト	1名

幹事報告(鹿毛副幹事)

■お知らせ

- ・次回27日の例会終了後のガバナー公式訪問前のクラブ協議会に出席される方は、2014-2015年度事業計画書をお持ちください。合わせて、クラブネクタイ(赤)、バッジも忘れないようにお願い致します。



.....SMILE BOX

渡部邦昭 会長、賀谷俊幸 幹事

廣畑富雄様、遠方から当クラブの卓話のためにお越しいただき、感謝申し上げます。宜しく願い致します。

愛谷俊治 会員

我が母校広陵野球部は、夏の大会で残念ながら、三重高校に延長戦で敗れました。皆様のご支援、ご声援有り難うございました。来年の春の選抜を目指して頑張りますので、宜しく願い致します。

久保弘睦 会員

金婚式のお祝いをいただきました。ありがとうございます。結婚生活、50年というのは、ひとえに妻のお陰だと思っておりますので、近々温泉にでも2人で行きたいと思っております。

当日計	22,000円	累計	214,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30~13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
 【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話(1/3)

福岡西ロータリークラブ会員 パスト会長・医師
九州大学 医学部 名誉教授
廣畑 富雄 様



1. はじめに

現在、国際ロータリーが、随分変わりつつある、そしてロータリーの、100年続いた伝統を、どんどん変えようとしている、と危機感を持っています。例えば会員増強のために、「配偶者をロータリアンに」という流れもあります。ですから、日本のロータリークラブの会員は、きちんと勉強し、ロータリーを学び、自主性をもつ必要があります。今日は拙著、「ロータリーの心と原点～基本に返ろう」を元にお話しします。読みやすい本ですので、どうかまたゆっくり読んで下さい。

2. ロータリーの創業者の精神

ロータリーは1905年、ポール・ハリスによって始められました。たった4人で始まったロータリーが、今では世界に120万人の会員を持つ大組織になりました。その基には、創始者の方々の強烈な精神があり、ロータリーの基本があり、それらがロータリーの大発展につながりました。残念ながら近年、ロータリーは多くの問題を抱えるようになりました。ロータリーの魅力が失われてきた、そのような声を良く聞きます。私の同期のガバナーのお一人が、「ガバナーをして欲しいといわれたが、受けるかどうか迷った。自分は以前のロータリーは好きだが、今のロータリーは———」という言葉が強く記憶に残っています。ロータリーの考え方は、自分勝手な生き方の正反対です。ロータリーの基本は「サービス」です。「サービス」は邦訳の「奉仕」より遥かに概念が広く、人のためになる行為全体を指しています。「サービスと倫理の関係」を考えると、「サービス」、人のために役立つには、モラルが高くなければなりません。例えば、建物を建てる、その建物に住む人の役に立つためには、当然のことながら鉄筋量を不当に減らすとか、偽った構造計算をするといった発想は生まれてきません。「サービス」からモラルに通じる、したがって以前の「手続き要覧」には、道徳律が記載されていました。ロータリーの綱領が示すように、ロータリアンには立派なモラルが求められます。ロータリーの例会は修養の場であるというのが米山梅吉さんの考えでした。

3. ロータリークラブの構成と目的

カンディカーさんの記述した、ロータリークラブの目的は、以下の4つです。

- ① 会員個々人の向上
- ② 会員の企業を、理想と実際の両面において向上せしめること
- ③ 会員の家、町、州および国、ならびに社会全体を向上せしめること

会員がサービスの精神のもと向上につとめ、その属する職種の向上につとめ(ロータリアンはその職種の代表というのが伝統的な考え方)、さらに地域社会の向上につとめる、それがロータリーの目的だという考えです。この「人の役に立とう」と言うサービスの精神は、より良き社会を造ると共に本人の幸せに通じるという考え方です。これが「最も良く奉仕するもの、最も良く報われる」というロータリーのモットーが生まれた所以です。また、「四つのテスト」を従業員に浸透させる事により、企業を再生させたというテラーさんのやり方にも通じるものです。家庭でもサービスの精神は、幸せな家庭を築くことでしょう。日本のことわざ、「積善の家に余慶あり」とか、「情けは人のためにならず」というのも、同様な考え方を示しています。

4. 「ロータリーの心」とは。

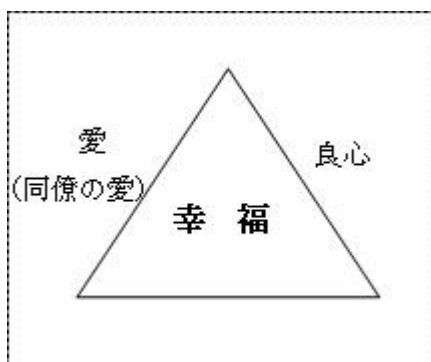
日本の2代目ガバナーである井坂孝さんは、銀行の頭取、海上火災保険会社やガス会社の社長などを歴任され、横浜商工会議所の会頭もされた。井坂さんはその月信で、ロータリーの本質を的確に述べられておられます。なお、奉仕という言葉を意識的に避け、原語の「サービス」で押し通しておられます。サービスを奉仕と訳せば、意味が大きく変わるためでしょう。サービスは、人のためになる行為です。それに対し奉仕は、第一の意味は仕えまつことであり(広辞林)、概念が大きく異なります。井坂さんは、「人間は、孤独の生活の出来ない、群居の動物であります。群居しておりますから、人と人との関係が起ります。人と人との関係が起れば、自分の都合ばかりを考えているわけには参りません。群居の状態を良くするためには、各自が人の為に役立つということを考えなければなりません。人のために役立つという事は、英語で言うサービスでありましょう。ロータリーは、サービスを以って、人間活動の根本概念にしたいという運動です。」ということを述べておられます。第2項(各業務の道徳的標準を高める事)とは、各自の業務を通じて、社会・人類にサービスをしようとするものであり、これをヴォケーショナル・サービスと言っております(現在は職業奉仕と訳している。しかし職業サービスが適切。忠実な訳は、天職を通じたサービス)。

ゲスト卓話(2/3)

ヴォケーショナル・サービスがロータリーの根本です。今日の世界で、ほとんどすべての企業は、利益を目的にするように考えられています。仮に事業の計画を発表して株を募る場合に、この事業の目的はサービスであると言えば、株に応募する人が無いかもかもしれません。しかしながら、その事業が社会・人類に対するサービスにならないなら、その事業は成立しないことでしょう。ロータリーは、サービスになればなるほど、その事業は繁栄すると考えます。サービスを捨てて利益に走るものは、結局真の利益を獲得し得ないと信ずるものです。

5. サービス(奉仕?)と幸福

ロータリーを始めたのは、ポール・ハリスです。そして、ロータリーの基礎にサービスをすえたのは、アーサー・フレデリック・シェルドンです。サービスは奉仕と訳されているが、意味が違います。サービスは相手の事を思い、相手のためになるような行為、相手をおもんばかった行為であり、サービスの心がけはどんな時でも大切で、例えば家庭でも大切です。相手の事を思う行為は、良い家庭、幸福な家庭につながります。ビジネスでもサービスの心がけは、シェルドンの言葉を借りれば、「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して、「繁栄への道」です。ですから、He Profits most who serves best「最も良くサービス(奉仕?)する者 最もよく報われる」というモットーが生まれるのです。彼は自分の事しか考えない行為、サービスを心がけない行為「それは一時的には良くても、破滅への道だ」と断言します。彼の有名な「ロータリー哲学」で述べている、幸福への三角形については、私の本の27頁をご覧ください。サービスの心、思いやりの心とは他者への敬意、他者を大事にする心、と言っても良いものです。



6. ロータリーの愛(ポール・ハリスの考え)

ボストンの国際大会で、ポール・ハリスはラヂオで立派なスピーチをし、最後に、「誰であれ人を愛する人は、ロータリアンになるポテンシャル、可能性が有る」と述べました。感銘深い言葉です。ロータリーのベースに、人に対するLOVE愛がある。パウロ(キリスト教)の、「山を動かすような信仰があっても、身体を信仰のために投げ出しても、もし愛がなければ無いに等しい」、という言葉はあまりに有名です。

7. ポール・ハリスが考える「寛容の精神」

ロータリーではよく「寛容の精神で」という表現を使います。ポール・ハリスが考える寛容の精神は、どういものでしょうか。寛容の精神については、彼は面白い事を述べています。国際ロータリー雑誌、今は“The Rotarian”ですが、スタートした時は、“The National Rotarian”と言っていました。その第一号に彼は、巻頭の論文を書いている。広大なコロシウム(円形競技場)の座席が、ロータリアンで埋め尽くされている。中央にポール・ハリスが立つ、そして何か一言ロータリアンの大衆に向かって叫んでほしいと言われれば、瞬時の躊躇もなく大声で、「寛容」“Toleration”と叫ぶだろうと述べています。「寛容」は彼にとって、本当に重要な、ロータリーの心なのです。彼の言う寛容の精神はどういものなののでしょうか。この点については、私の本の33頁をご覧ください。

8. 職業奉仕Vocation Serviseと、ロータリーの存在意義

私はロータリーに入会した頃は、職業奉仕は、職業を通じた奉仕活動なのだから、たとえばお医者さんが、無医村に出かけていって、無料で診療する、弁護士さんが、無料の法律相談をする、そういうのが職業奉仕かと思っていました。しかしロータリーの本を読むと、そういうのは立派な行為だけれども、職業奉仕ではなくて、むしろ社会奉仕だと書いてあります。シェルドンは、職業奉仕の説明に、靴屋さんの例を引きます。世界中の靴屋さんが一か所に集まる。靴の製造器具とともに集まる。それが突然の天災で全部なくなったら靴なしで歩くことになる。はだして歩くのはたまりません。そのとき社会は、靴屋さんが如何に世の中に役立っているか、職業を通じたサービス(相手のためになる行為)をしているか分かるだろうと述べています。確かにそのように考えれば、どんな職業でも世の中の役に立っていると思います。

ゲスト卓話(3/3)

東京の築地に聖路加国際病院があります。非常に評判の高い病院であり、いま高名な日野原重明さんは、ここのお医者さんです。日本中から患者さんが集まる。私が大学を出てすぐ聖路加で勉強していたころ、当時財界の総理といわれた、石坂泰三さん、皇太子妃になる直前の正田美智子様とか、多くの方が入院、あるいは受診しておられました。聖路加はキリスト教 聖公会の病院で、人々への愛を中心にすえ、患者さんの立場に立ってサーヴィスする病院でした。それが病院の声価を高めた所以だと思います。

9. ロータリーの存在意義

ロータリークラブが1905年にできたときの社会状況ですが、その50年前に、マルクスの共産党宣言が出ている。1916年にレーニンの帝国主義論が出ている。そういう時代の中でロータリーが出てきた。資本主義の暴走、資本の暴走が始まって、みんな惨たんたる状況だった。資本主義の原点と言うか、マックス・ウェーバーの「プロテスタンディズムの論理と資本主義の精神」で言われている、資本主義の原点に返れというのが、ロータリーの出た社会的なバックグラウンドだと思うんです。ロータリークラブは、今このままだと衰退するのではないか。しかし、逆に、ここで「心と原点」を再興して、本当にそっちの方に踏み出せば、ロータリーの存在意義は非常に大きい、と思います。

10. 魅力あるロータリー

今一番必要な事は、ロータリーの魅力の再認識です。ロータリーの魅力は何か。人によって考えが違ってもかもしれませんが、私はロータリーの魅力は、ロータリーの心と原点を再確認し、ロータリーの基本に返ることで得られるものと思います。以下そのまとめを述べます。

- ① ロータリークラブは、知人の集まりではなく、友人の集まりです。友情を大切にしたい。それがすべての基本になると思います。
- ② サーヴィスの心を大切にしたい(奉仕、仕え奉ることではない)。サーヴィスの心は、思いやりの心といっても良い。サーヴィスの心は、結果的には仕事の繁栄をもたらすし、人の和を得るし、本人の幸福につながります。
- ③ ロータリーの目的(綱領)と、四つのテストを大事にしたい。一部には、そういう論理的なことより、ロータリーの主体は外部活動だと誤解の向きもあります。人のためを思う、そこから高い倫理性が求められます。四つのテストを事業所や自宅に掲げている方は多いでしょう。もし日本のロータリアン、世界のロータリアンが、本当に実行に移せば、世の中はずいぶん良い方に変わってくるでしょう。
- ④ 1業種1人の伝統を、出来るだけ大事にしたい。ロータリアンは、その業種の代表であるという考えを大事にし、また異業種間の交流を大事にしたい。今は1業種5人まで、あるいは会員数の10%まで良いというようになりましたが、ロータリーの伝統は1業種1人で、ロータリアンはその業種の代表という考えです。
- ⑤ デモクラシー、民主主義を大切にしたい。つまりロータリーは、ピラミッド型の組織ではなく、クラブの自主性を大事にする組織だということです。RIには、人集め、金集めの傾向があるのでは、という批判があります。もしそうであれば、ロータリーの魅力を損なうものでしょう。
- ⑥ ロータリーの外部活動は、いずれも立派な活動ですが、どんなプログラムも原点に戻り、見直しと、スクラップ・アンド・ビルドが必要だと思います。肥大化する一方では困る。肥大化を防ぐには、地区で言えば、ガバナーの責任、クラブで言えば、会長の責任が重い。放置すればそのプログラム担当の方は皆さん熱心であり、各プログラムとも肥大化し大きくなる傾向があります。またロータリーの限界も認識したい。ロータリーは、日本政府や、国連のユネスコや、WHOの代わりをするものではありません。
- ⑦ この本の初めに書いたように、今混迷の度が深い日本の社会で、ロータリーの心はもつとも必要な心ではないでしょうか。ロータリーの心と原点に立ち返るとき、その存在意義はまことに大きいものがある。われわれはそういう自信を持って、ロータリーの第二の世紀に船出したい、と考えます。

私の話したことを、私の「ロータリーの心と原点」を読み返すことによって確認していただければ幸いです。

ロータリー財団寄付認証ピン贈呈

長松俊典会員に、ロータリー財団よりポール・ハリス・フェローの認証ピンが贈られました。



金 婚 式

久保弘睦会員が、金婚式を迎えました。



米 山 奨 学 生

2014学年度米山記念奨学生の寿明(ジュメイ)さんが例会に出席しました。米山奨学会より、米山奨学生のカウンセラー古谷幸一会員に感謝状が贈られました。



米山奨学金授与



カウンセラー感謝状